

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

産業インフラを支える。豊かな未来を拓く。安全で安定的なプラントの操業を支え、人、暮らし、環境の未来に貢献する。

完成工事高
1,710億円

営業利益
136億円

ROE
9.5%以上

連結配当性向
60%以上

② 中長期の経営戦略

1. 経営基盤の強化

DXによる業務プロセス改革、人材育成強化、健康経営促進、新しい働き方推進によるガバナンス強化。

3. エンジニアリング事業強化

3D設計・AI設計推進、BIM/CIM構築、先進的プロジェクト管理システム導入で高度化・遂行力強化。

2. メンテナンス事業強化

施工作業の機械化・自動化、次世代メンテナンス技術開発、施工管理の高度化でコア事業競争力強化。

4. タンク事業の強化

低温タンク分野受注体制構築、製作・検査ロボット化、自動溶接の現場実装によるさらなる拡大。

③ 対処すべき課題

① 労働生産性向上

- ・リソース管理の高度化が必要
- ・機械化・自動化の加速推進
- ・2024年時間外労働上限規制への対応

② DXによる高度化対応

- ・エンジニアリングの高度化・遂行力強化
- ・GX推進に伴う設備投資拡大への対応
- ・データドリブン経営の推進

③ カーボンニュートラル対応

- ・新規メガソーラー・グリーンアンモニア案件受注推進
- ・LNG・液化水素などの低温タンク分野進出
- ・GHG排出量削減目標（Scope1&2）の達成

面接で使えるポイント

- ・長期ビジョン『RAIZNEXT Group V-2032』実現に向け…
- ・メガソーラー・グリーンアンモニア製造プラント等、カーボンニュートラル社会に向けた新分野開拓で社会貢献を実現する。
- ・施工作業の自動化・ロボット化や3D設計・AI設計により、労働人口減少に対応しながら業界の安全性向上に貢献する。

証券コード 6379

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

1938年創立の建設・資材業に属する上場企業

主力事業・セグメント

・建設業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率98.6%と高い収益性

・財務健康度76点と財務基盤が健全

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
149億円営業利益率
98.6%財務健康度
76点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

975万円

建設業内 29位/140社

平均年齢

42.0歳

建設業内 95位/140社

平均勤続

15.4年

建設業内 79位/140社

女性管理職

2.3%

建設業内 75位/112社

男性育休

100.0%

建設業内 26位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: レイズネクスト(株)【6379】：決算情報

